

情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・10月

■パン製造業 【県内全域】

昨今の諸物価の値上げにより、各組合員における事業内容は悪化していると思われる。

■味噌製造業 【県内全域】

原材料高騰にも関わらず、製品価格に転嫁出来ておらず、総務省の家計調査では、みそ支出金額・購入金額・平均価格ともに前年を下回っていることがわかる。

■シャツ製造業

【千葉県・東京都】

原油価格の上昇に伴い生産コストが上がり、全体的に悪い。

■製材業 【木更津市】

7月以降の関税アップの影響を受け、ロシア原木の入荷が2ヶ月間ストップした。

■印刷 【千葉市】

6月～9月は前年比マイナス。10月は若干上向き傾向。

■生コン製造 【県内全域】

前年比減少は最近になく大幅落込であった。上半期の累計前年比も悪い。建築確認がおりないとの噂も多く、極めて心配。景況感も非常に悪くなっている。

■電気鍍金 【県内全域】

受注量は多少増加しているが、資材とりわけ薬品・燃料等の高騰、加工単価が前年よりも低下してきているため収益率が悪い。

■鉄工 【千葉市】

景況感に悪化が見られた。

■機械部品製造業 【野田市】

材料高騰による製品への価格転嫁がやっとの事で、運搬経費等々の転嫁までには至っていない状況が見受けられる。収益状況は依然として厳しい状況である。

■土砂採取業・採石業

【県内全域】

羽田空港拡張事業に伴い、千葉県中部地区の砂利採取企業の業績は回復しつつあるが、ダンブカー業者は、燃料単価の高騰により悪影響が出ている。

■石油製品製造業

【富津市・他】

化石燃料の価格上昇に伴い、販売価格が上昇の方向へ。但し、原料経費も値上がってきている。

■食肉卸売業 【県内全域】

前年度から見れば少々減少したが、問題化するほどでもなかった。

■建築材料卸売 【県内全域】

ゼネコン談合問題の余波と建築基準法改正による建築確認の遅れのため、工事量激減。GC安値受注のあおりで、売上・収益とも急落。資金面でも支障懸念出ている。

今までの横這景況感が一気に悪化してきた。

■自動車解体業 【県内全域】

新車販売が減少し使用済み自動車のパイが縮小している中で、オークションルートからの仕入れを中心に行っている事業者への入庫は好調を保っている模様。

■小売 【柏市】

店頭の商品は冬物に変わったが、陽気が暖かく動きは良くない。パート従業員

の確保が難しくなっている。

■小売 【東金市】

秋物は、非常に厳しい年になってしまった。景気の沈滞ムードが消費動向に大きく左右されているようである。

■小売 【野田市】

大型店の出店合戦が続いている。過剰な競争の結果、地元小売店がその煽りを受け、売上が低下し、経営難が進んでいる。

■小売 【大網白里町】

パート等募集状況は最悪。

■電気機器小売 【県内全域】

デジタル関連の値下がりが続き、買い控えが続いている状況。

■中古車仕入・販売 【県内全域】

相場・高額車が乱れる。仕入をかなりセーブする傾向。明らかにブレーキがかかった状況。

■農業機械販売整備

【県内全域】

トラクター生産・販売メー

カーの農機流通に変化の兆し。①直販重視②特約店中心③直販・特約店併用(従来型)。農水産物の減少、農機需要の絶対量減少の中、メーカーサイドに集約化を含む合理化の動きは急。

■小売・サービス 【習志野市】

前月比は9%減、前年同月比は、3%減

■小売・サービス 【銚子市】

悪いままの推移。

■建設揚重 【県内全域】

稼働率は前月並み。燃料費は11月1日の大幅値上がりの影響が大きい。今後が心配のタネ。

■ソフトウエア業 【千葉市】

年末・年度末を前に中だるみの状況。

■建設 【県内全域】

組合員の官公需受注は、前月比増加、前年同月比では減少。

■貨物運送 【野田市】

度重なる燃料の値上がりによる影響が懸念される。